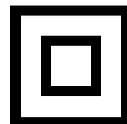


取扱説明書

二重絶縁



用途

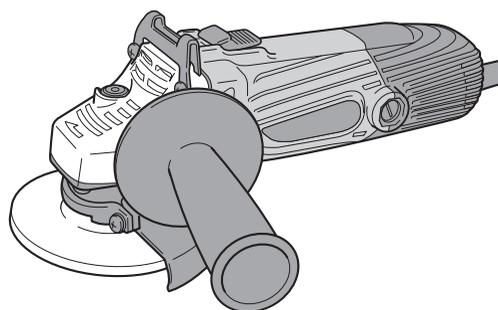
- 金属のバリ取り、サビ落とし、切断、表面仕上げ、ペンキはがし
- 石カワラ、タイル、石材などの溝入れ

日立電気ディスクグラインダ

100 mm **G 10SS**

125 mm **G 13SS**

このたびは日立電気ディスクグラインダをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



電動工具の安全上のご注意	1
二重絶縁について	3
本製品の使用上のご注意	4
各部の名称	6
仕様	6
別売部品	7

はじめに

ご使用前の準備	9
スイッチについて	11
トイシの取付け・取りはずし	12
削る	13
別売部品の取付け方	15

使い方

保守・点検	23
ご修理のときは	裏表紙

その他

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ 警告」、「⚠ 注意」、「注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ 感電に注意してください。
 - 電動工具を使用中、身体を、アース(接地)されているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ 子供を近づけないでください。
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ 無理して使用しないでください。
 - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⚠ 警告

- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
- ⑨ **保護メガネを使用してください。**
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ **防音保護具を着用してください。**
 - 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ **加工する物をしっかりと固定してください。**
 - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
 - 使用しない、または、修理する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
 - 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

警告

⑰ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で延長コードを使用する場合、キャプタイヤコードまたはキャプタイヤケーブルを使用してください。

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに依頼してください。
- スwitchが故障した場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スwitchで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターにお申し付けください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

二重絶縁について

電気の流れる所と外観部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。

お求めの製品は二重絶縁をしてあり、銘板に  マークで表示してあります。

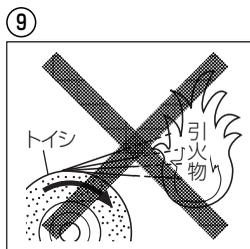
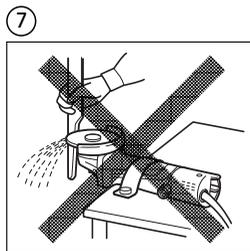
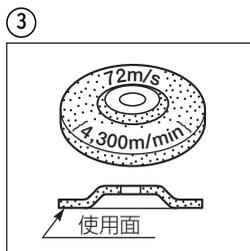
異なった部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターにご用命ください。

本製品の使用上のご注意

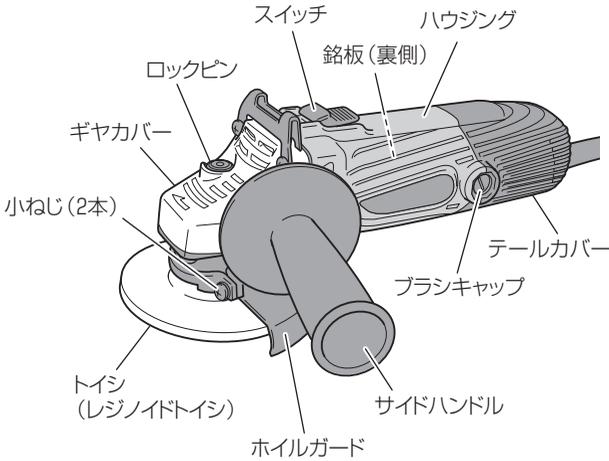
先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、電気ディスクグラインダとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② ホイルガードは、必ず取付けて使用してください。
 - トイシやダイヤモンドカッターが破壊したとき、けがの原因になります。
- ③ 使用するトイシ(レジノイドトイシ)は、最高使用周速度 72 m/s {4, 300m/min} 以上の正規のトイシを取付け、正しい使用面で研削してください。側面や上面では研削しないでください。
 - 正規以外のトイシを使用したり、また側面や上面で研削すると、トイシが破壊し、けがの原因になります。
- ④ トイシにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - 異常があると、トイシが破壊し、けがの原因になります。
- ⑤ 使用中は、振り回されないよう本体を確実に保持してください。特に始動時は気をつけてください。サイドハンドルを付属している場合は、サイドハンドルをしっかりと取付けてください。
 - 確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ⑥ 水、研削液などは使用しないでください。
 - 乾式用のため、トイシの破壊によるけがや感電の恐れがあります。
- ⑦ 本体を万力などで保持した使い方はしないでください。
 - トイシやダイヤモンドカッターが破壊したとき、けがの原因になります。
- ⑧ 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
 - けがの原因になります。
- ⑨ 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷つきやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。
 - 火災ややけどの原因になります。
- ⑩ トイシを用いて切断作業をする場合は、切断トイシを使用してください。
 - 切断トイシ以外のトイシは、けがの原因になります。



各部の名称



標準付属品

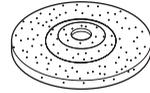
レジノイドトイシ

[G 10 SS]

外形 100 × 厚さ 4 × 穴径 15 (mm)

[G 13 SS]

外形 125 × 厚さ 6 × 穴径 22 (mm)



スパナ



サイドハンドル



仕様

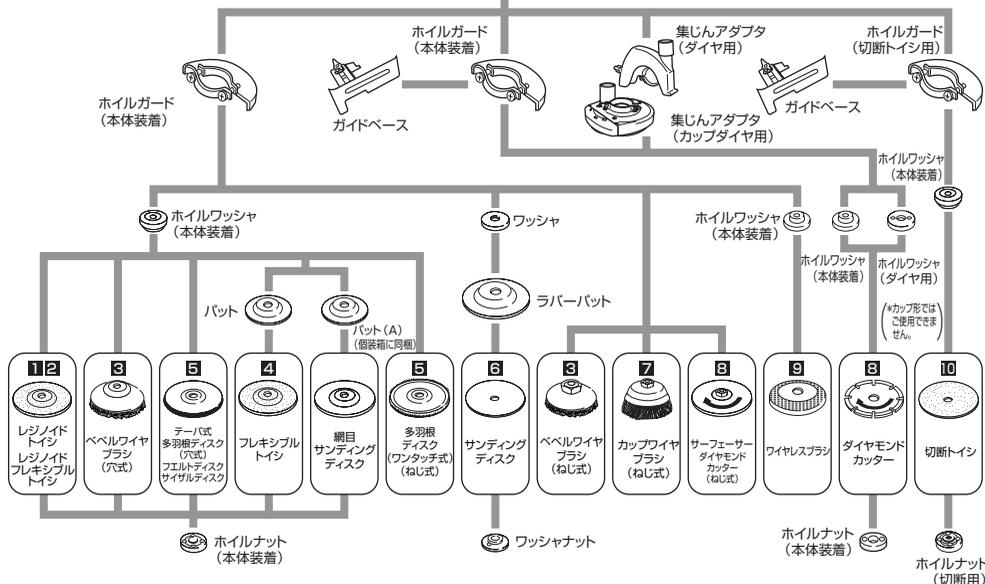
形名		G 10SS	G 13SS
使用電源		単相交流 50 / 60Hz 共用 電圧 100V	
モーター		単相直巻整流子モーター	
全負荷電流		6.1 A	
消費電力		580 W	
無負荷回転数		11000 min ⁻¹ {11000 回/分}	10000 min ⁻¹ {10000 回/分}
トイシ寸法	外径	100 mm	125 mm
	厚さ	レジノイドトイシ	
		4 mm、6 mm	6 mm
穴径	15 mm	22 mm	
質量(コードを除く)		1.4 kg	
コード		2心キャブタイヤケーブル 2.0 m	

別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

詳しくは、お買い求めの販売店、または日立工機の全国営業拠点(裏表紙参照)にお問い合わせください。

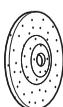


100 mm ディスクグラインダ
G 10SS



作業に適した先端工具をお選びください。
取付け方法は、15～22ページをご参照ください。

1 レジノイドトイシ



目づまりが少なく、研削能率は最高。
特にステンレスの荒研削には抜群の性能を発揮します。

2 レジノイドフレキシブルトイシ



研削時の振動、騒音が低く、研削面への吸い付きが抜群。
ステンレス、一般鋼材に材質を選ばず使用でき、効率的な作業ができます。

3 ベベルワイヤブラシ

ねじ式

穴式



鋳物、構造物、タンク、車体、鉄板、石材およびコンクリートなどの表面仕上げ、またはペンキがしなどに有効です。
特に凸凹が激しい面や、隅の部分または溝の底などを仕上げる場合に外周部を使用し、能率を上げることができます。
線材破片の飛散が少ない高性能・長寿命タイプです。

4 フレキシブルトイシ(外径 100 mm 仕様のみ)



柔軟性をもったトイシで、作業中の衝撃が少なく、レジノイドトイシによる重研削と、サンディングディスクによる上仕上げの中間仕上げに適し、高能率を発揮します。

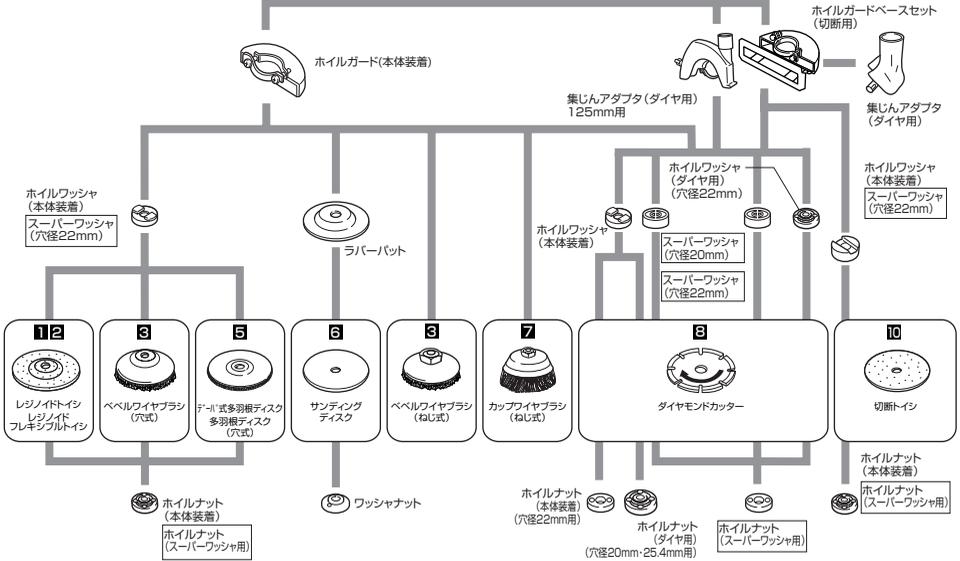
5 多羽根ディスク



トイシに比べ高能率、長寿命のすぐれたもの。
ジルコニア砥粒なのでステンレス、特殊鋼の研削および重研削作業も可能です。



125 mm ディスクグラインダ
G 13SS



おしごと

6 サンディングディスク



研削量が少なく仕上げ面をきれいにしたいとき、塗装面の下地みがき、さび落とし、塗料落としなどに用います。

7 カップワイヤブラシ



ベベルワイヤブラシと同じ目的に使用されますが、とくに仕上げ面が平らな場合能率的です。線材破片の飛散が少ない高性能・長寿命タイプです。

8 ダイヤモンドカッター

カワラ、タイル、石材、コンクリートなどの溝入れ、および研削などに用います。



セグメント



波形セグメント



V字形 (外径 100 mm 仕様のみ)



サーフェーサー (外径 100 mm 仕様のみ)

9 ワイヤレスブラシ (外径 100 mm 仕様のみ)



素地を削らず、金属表面の皮膜・ヨゴレ・キズだけをキレイに除去します。

10 切断トイ



切断トイは金属用と非金属用の2種類あります。

ご使用前の準備

●漏電しゃ断器の設置をおすすめします

万一の感電防止のため、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

●延長コードを使う場合

警告

延長コードは損傷のないものを用意してください。

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。

右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

コードの太さ (mm ²)	最大長さ (m)
1.25	15
2	25
3.5	45

●作業環境の整備

警告

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
- ③ 子供を近づけないでください。
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

○騒音防止規制について

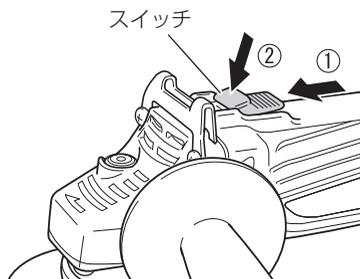
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

薄い鋼板などを研削する場合には、作業台の状況によっては研削音が鋼板に反響して大きな騒音が出る場合があります。このような場合には鋼板の下にゴムシートを敷くなどして騒音を出さない配慮が必要です。

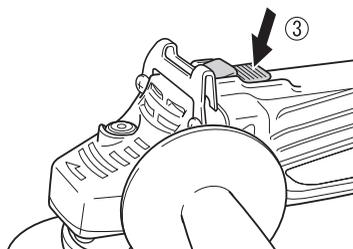
スイッチについて

スイッチは①の方向にスライドさせると入り、はなすと切れます。

①方向にスライドさせたあと、②方向に押込むとスイッチがロックされ連続運転ができます。



ロックを解除し、スイッチを切るときは③の方向にスイッチを押します。



トイシの取付け・取りはずし

標準付属のレジノイドトイシは次の手順で取付け・取りはずしをしてください。

⚠ 警告

トイシの取付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。

⚠ 注意

- ホイルナットは、必ず付属のスパナを使って十分に締付けてください。
- ホイルワッシャ（ダイヤ用）（別売部品）を、ホイルナットの代わりに使用しないでください。

取付け

1 ホイルワッシャ・トイシを取付ける

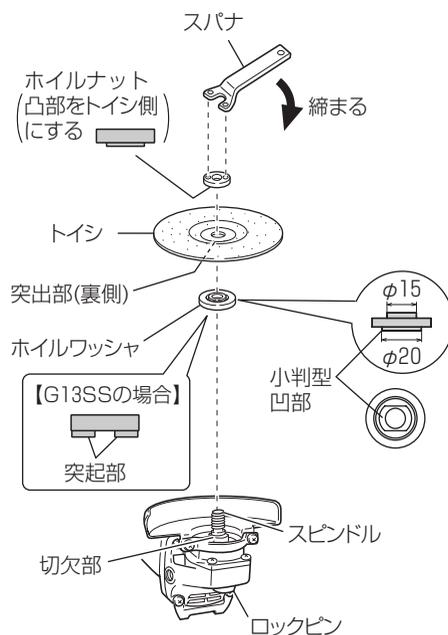
- スピンドルを上に向け、ホイルワッシャの裏側の小判形凹部（G13SSは突起部）をスピンドルの切欠部に合わせてホイルワッシャを取付けます。
- ホイルワッシャの上にトイシの突出部を当てます。

2 ホイルナットを取付ける

トイシの上からホイルナットの凸部をトイシの穴に合わせ、スピンドルに取付けます。

3 ホイルナットを締付ける

- ロックピンを押してスピンドルを固定し、スパナでホイルナットを十分に締付けます。
- ロックピンから手を離すと、元の位置に戻り、スピンドルの固定が解除されます。



取りはずし

トイシを取りはずす場合は、**①～③**の取付けと逆の手順に行います。

注 ロックピンを押して離れたときに、確実に戻ることを確認してください。

削る

- 鉄、青銅、アルミ鋳物などのバリ取りおよび仕上げ、溶接、溶断部の研削、さび落とし
- 塗装面の下地みがき、さび落とし、塗料落とし
- 軟鋼材、カワラ、タイル、石材、コンクリートなどの切断、溝入れおよび研削

警告

- 手順①～⑤については、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。
- 作業中は、必ず保護メガネを使用してください。
- 機体に衝撃をかけるとトイシにヒビが入ったり、割れたりする恐れがあるので、取扱いには十分注意してください。
- 万一機体を誤ってぶつかけたり、落としたりしたときは、必ずトイシのヒビ割れや、機体に破損などがないことを十分確認してください。

1 スwitchが切れていることを確認する

(P11「スイッチについて」参照)

2 ホイルガードを確認する

- ホイルガードはトイシが破壊した場合に使用者を保護する防護壁ですから、必ず取付けてください。
- ホイルガードは小ねじ(2本)を少しゆるめることにより任意の角度に動かすことができます。作業に適した角度にセットしてご使用ください。調整後は小ねじ(2本)を確実に締付けてください。

注意

- 機体のスイッチを入れるときは、機体の回転部分が加工材などに接触していないことを確認してください。接触していることを知らずにスイッチを入れると、トイシが破壊することがあり、けがの原因になります。
- 新しいトイシを取付け、はじめてスイッチを入れるときは、トイシの露出部から必ず一時身体を避けてください。

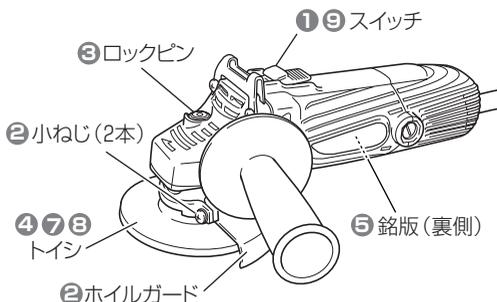
3 ロックピンを確認する

ロックピンを押して離れたときに、確実に戻ることを確認してください。

4 トイシを確認する

- トイシは正規のものか、またヒビや割れがないか調べてください。
- トイシは正規の状態に取付けられ、十分締付けられているか点検してください。

(P12「トイシの取付け・取りはずし」参照)



5 電源・コンセントを確認する

- 必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に速くなり、機体が破壊する恐れがあります。また、直流電源、エンジン発電機では使用しないでください。
- コンセントががたついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。電気工事店にご相談ください。

6 電源プラグをコンセントにさし込む

7 試運転を行う

- トイシにヒビ・割れがあるのを気づかずに作業しますと非常に危険です。
- 作業前には人のいない方向にトイシを向け、必ず試運転を行って異常がないことを確認してください。

試運転時間は

トイシ交換のとき……………3分間以上
その日の作業始めのとき…1分間以上

参考

付属のトイシ(レジノイドトイシ)は一般鋼材の重研削用に最も適しておりますが、その他の各種の材料にも使用できる用途の広いものです。

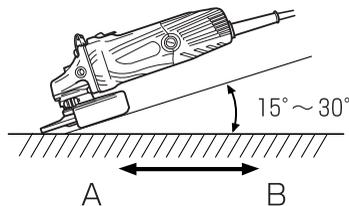
なお粒度が粗い方ですから仕上げ面をきれいにするには、機体を軽く持ち上げ気味にしてゆっくりと一定速度で研削しますと、粒度の細かいものと同じように仕上げることができます。

注・モーターが回転中は、ロックピンを押さないでください。またロックピンを押したままでスイッチを入れないでください。

- トイシは材料に強く押し付けしないでください。機体自身の重さで研削できますから材料に軽くあてる程度に保持してください。
- 強く押し付けると回転が落ち仕上げ面がきたなくなります。また過負荷になってモーターが故障する原因になります。

8 材料にトイシをあてる (参考参照)

- トイシが新しいときは、前(Aの方向)へ押しますとトイシの角が食い込むことがありますから、後ろ(Bの方向)へ引いてご使用ください。
- トイシの全面を材料にあてないで、図のように機体を $15^{\circ} \sim 30^{\circ}$ 傾けて、トイシの外周部で研削してください。
- 角が消耗しましたら、どちらへ進めても問題ありません。



9 作業を終了する

使用後はスイッチを切って、トイシの回転が止まってから機体を置いてください。回転が止まらぬうちに切粉やごみの多い場所に置きますと、切粉やごみを吸い込むことがあります。機体の寿命、事故の原因となりますのでご注意ください。

別売部品の取付け方

⚠ 警告

- 万一の事故を防止するため、別売部品の取付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 別売部品を使用の場合も必ずホイルガードを取付け、保護メガネを使用してください。

● サンディングディスクの取付け

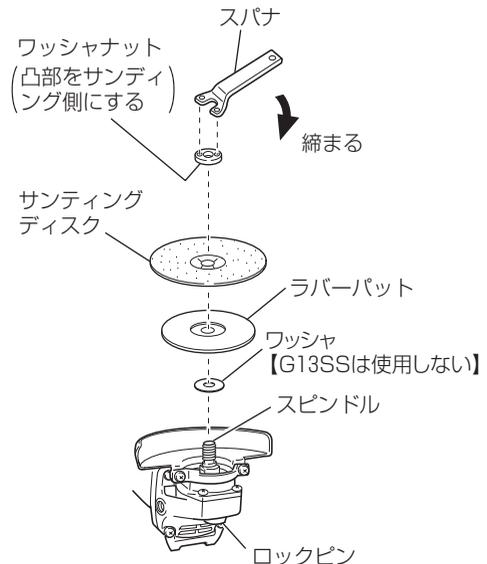
○サンディングディスクをご使用になるときは、ワッシャナット、ラバーパット、ワッシャを一緒にお買い求めください。

注 付属のトイシ取付け用のホイルワッシャ、ホイルナットは使用しません。

1 スピンドルにワッシャ (G 13 SSは使用しない)、ラバーパット、サンディングディスクの順に取付けます。

2 サンディングディスクの上からワッシャナットの凸部をサンディングディスク側にして、スピンドルに取付けます。

3 ロックピンを押してスピンドルを固定し、スパナでワッシャナットを十分に締付けます。



●フレキシブルトイシ【100 mmのみ】、 網目サンディングディスク【100 mmのみ】の取付け

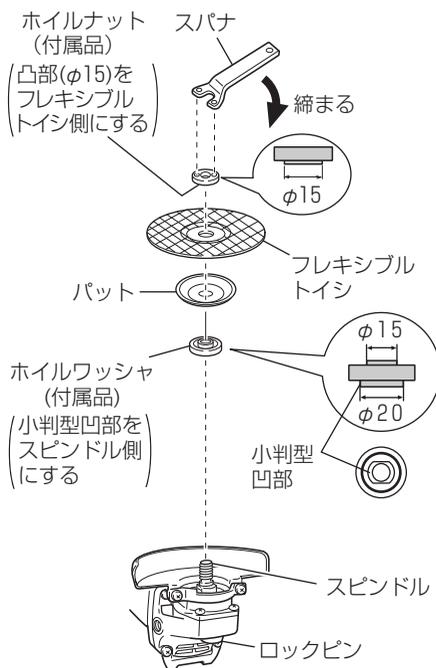
- フレキシブルトイシ、網目サンディングディスクをご使用になるときは、それぞれ専用のパットを使用します。
- パットはフレキシブルトイシ、網目サンディングディスクに同梱されております。

注 付属のトイシ取付け用のホイルワッシャ、ホイルナットを使用します。

1 スピンドルにホイルワッシャ、パット、フレキシブルトイシの順に取付けます。

2 フレキシブルトイシの上からホイルナットの凸部(φ15)をフレキシブルトイシの穴に合わせ、スピンドルに取付けます。

3 ロックピンを押してスピンドルを固定し、スパナでホイルナットを十分に締付けます。



使い方

● 100 mm用ガイドベースの取付け

○切断トイシやダイヤモンドカッターを使用する際、ガイドベースを取付けてご使用になると切込み深さを一定に保つことができます。

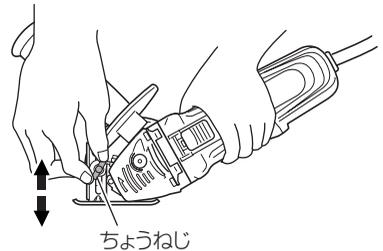
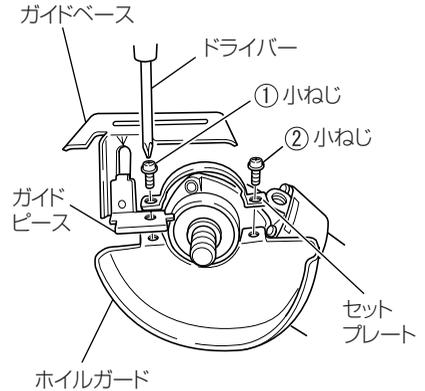
- 注**
- 切断トイシをご使用になるときは、別売のホイルガード(切断トイシ用)と合わせてご使用ください。
 - ちょうねじ、小ねじ(2本)はしっかりと締付けてください。
締付けが不十分な場合、作業中にねじがゆるんでガイドベースが動き、けがの原因になります。

1 ホイルガードの小ねじ2本(①と②)をゆるめます。

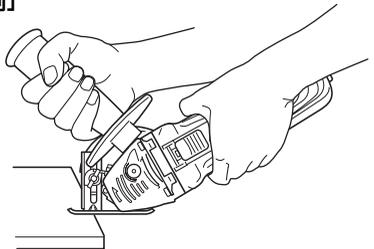
2 ガイドピースをホイルガードとセットプレートの間にはさみ込み、①小ねじを十分締付けます。

3 ホイルガードの角度を作業に合った位置にセットし、②小ねじを十分に締付け、ホイルガードを固定します。

4 ちょうねじをゆるめて、切込み量を調整します。



[使用例]



● 125 mm 用ホイルガードベースセット (切断用) の取付け

○切断トイシやダイヤモンドカッターを使用する際、ホイルガードベースセットを取付けてご使用になると切込み深さを一定に保つことができます。

注 ●切断トイシを使用する際は、ホイルガードベースセットを必ず取付けてご使用ください。

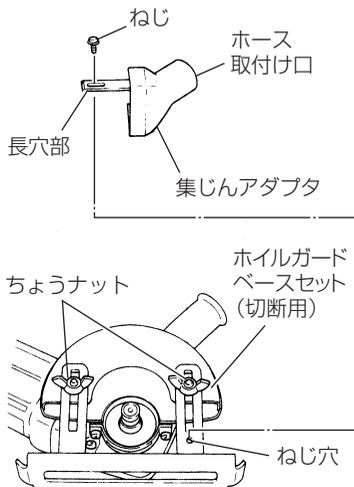
●ちょうナットやねじ類はしっかりと締付けてください。

締付けが不十分な場合、作業中にねじがゆるんでホイルガードベースが動き、けがの原因になります。

1 付属のホイルガードを小ねじ(2本)をゆるめてはずし、ホイルガードベースセット(切断用)を機体の回転方向に注意して取付けます。

2 ホイルガードベースセット(切断用)の角度を作業に合った位置にセットし、ホイルガードベースセット(切断用)を十分に固定します。

3 切込み量の調整はちょうナット(2コ)をゆるめて行います。

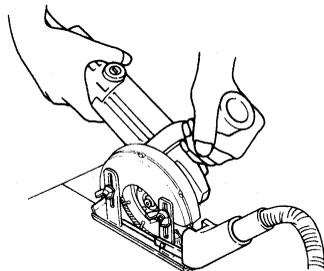


集じんアダプタを取付ける場合

1 ホイルガードベースセット(切断用)のねじ穴に集じんアダプタの長穴部を合わせ、ねじで締付け固定してください。(右上図参照)

2 集じんアダプタのホース取付け口に、電動工具用集じん機(別売品)のホースを取付けてご使用ください。切断粉が飛散せず、衛生的な作業ができます。

【使用例】



注 集じんアダプタはゴム製ですので、切断トイシを使用して鋼材を切断する場合は使用しないでください。切断作業時に発生する研削火花で集じんアダプタや集じん機が故障します。

● ダイヤモンドカッター【100 mmのみ】の取付け

⚠ 警告

- ダイヤモンドカッターは当社指定の別売部品を使用してください。
- 使用前に、必ずダイヤモンドカッターにヒビ割れ、欠け、曲がりがないことを点検してください。
- 水や研削液などをかけて使用しないでください。
- 切削方向によっては反力があるので、機体を確実に保持してください。

⚠ 注意

トイシと同様に試運転を行って、異常がないことを確認してください。
(P14「 試運転を行う」をご参照ください)

- 注**
- モーター故障の原因になるので、1回の切込み量は5 mm以下にしてください。
 - 送り速さを加減しながら無理な力をかけないようにして使用してください。

○ダイヤモンドカッターは乾式用をご使用ください。

○別売のガイドベースを取付けてご使用になると、切込み深さを一定にすることができます。

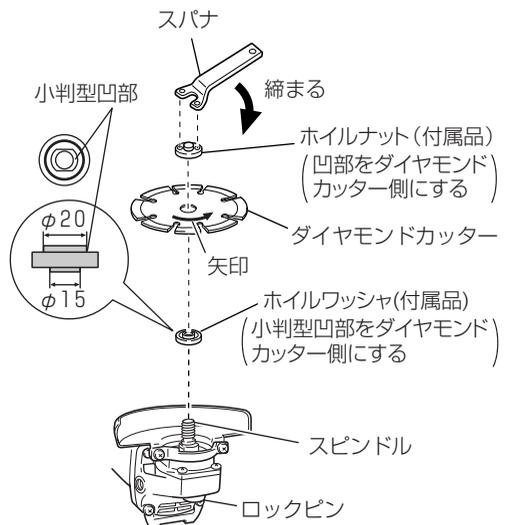
注 ホイルワッシャ、ホイルナットは付属のトイシ取付け用と同じ部品ですが、どちらも付属のトイシ取付け時と向きを逆にして使用します。

1 スピンドルに、ホイルワッシャ、ダイヤモンドカッターの順に取付けます。

注 ギヤカバーについている矢印とダイヤモンドカッターについている矢印の方向を合わせてください。

2 ダイヤモンドカッターの上から、ホイルナットの凹部をダイヤモンドカッター側にして、スピンドルに取付けます。

3 ロックピンを押してスピンドルを固定し、スパナでホイルナットを十分に締付けます。



参考

- 付属のトイシ取付け用ホイルワッシャの代わりに別売部品としてダイヤモンドカッター専用ねじ式のホイルワッシャ(ダイヤ用)を用意してあります。より精度の高い加工をするときにお買い求めください。
- ホイルワッシャ(ダイヤ用)の取付けは、凸部(φ20)をダイヤモンドカッター側にして、取付けます。

●ダイヤモンドカッター【125 mmのみ】の取付け

⚠ 警告

- ダイヤモンドカッターは当社指定の別売部品を使用してください。
- 使用前に、必ずダイヤモンドカッターにヒビ割れ、欠け、曲がりがないことを点検してください。
- 水や研削液などをかけて使用しないでください。
- 切削方向によっては反力があるので、機体を確実に保持してください。

⚠ 注意

トイシと同様に試運転を行って、異常がないことを確認してください。
(P14「 試運転を行う」をご参照ください)

- 注**
- モーター故障の原因になるので、1回の切込み量は5 mm以下にしてください。
 - 送り速さを加減しながら無理な力をかけないようにして使用してください。

○ダイヤモンドカッターは乾式用をご使用ください。

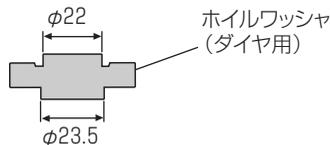
○別売のホイルガードベースセット(切断用)を取付けてご使用になると、切込み深さを一定にすることができます。

付属のトイシ取付けと同じです。

(P12「トイシの取付け・取りはずし」参照)

参考

- 付属のトイシ取付け用ホイルワッシャの代わりに別売部品としてダイヤモンドカッター専用ねじ式のホイルワッシャ(ダイヤ用)を用意してあります。より精度の高い加工をするときにお買い求めください。
- ホイルワッシャ(ダイヤ用)の取付けは、凸部(φ22)をダイヤモンドカッター側にして、取付けます。



●切断トイシ【100 mmのみ】の取付け

- 切断トイシは金属用と非金属用の2種類あります。
- 鉄などの切断には金属用切断トイシをご使用ください。
- 切断トイシをご使用になるときは、別売のホイルガード(切断トイシ用)、ホイルナット(切断用)を必ず取付けてご使用ください。
- 別売のガイドベースを取付けてご使用になると、切込み深さを一定にすることができます。

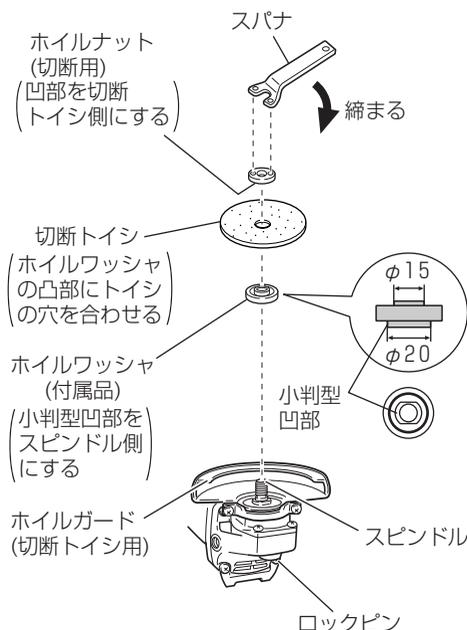
注 付属のトイシ取付け用のホイルナットは使用しません。

1 付属のホイルガードを小ねじをゆるめてはずし、ホイルガード(切断トイシ用)を取付けます。

2 スピンドルにホイルワッシャ(付属品)、切断トイシの順に取付けます。

3 切断トイシの上からホイルナット(切断用)の凹部を切断トイシ側にして、スピンドルに取付けます。

4 ロックピンを押してスピンドルを固定し、スパナでホイルナット(切断用)を十分に締付けます。



- 注**
- モーター故障の原因になるので、1回の切込み量は5 mm以下にしてください。
 - 送り速さを加減しながら無理な力をかけないようにして使用してください。
 - ホイルガード(切断トイシ用)は、切断作業時に発生する研削火花で高温になります。手など触れないようにご注意ください。

●切断トイシ【125 mmのみ】の取付け

- 切断トイシは金属用と非金属用の2種類あります。
- 鉄などの切断には金属用切断トイシをご使用ください。
- 切断トイシをご使用になるときは、別売のホイルガードベースセット(切断用)を必ず取付けてご使用ください。

1 付属のホイルガードをはずし、ホイルガードベースセット(切断用)を取付けます。
(P18「125 mm用ホイルガードベースセット(切断用)の取付け」参照)

2 切断トイシの取付けは、付属のトイシの取付けと同じです。
(P12「トイシの取付け・取りはずし」参照)

- 注**
- モーター故障の原因になるので、1回の切込み量は5 mm以下にしてください。
 - 送り速さを加減しながら無理な力をかけないようにして使用してください。
 - ホイルガードベースセット(切断用)は、切断作業時に発生する研削火花で高温になります。手など触れないようにご注意ください。

●各種先端工具の取付け

先端工具	取付け方法
レジノイドトイシ ベベルワイヤブラシ(穴式) テーパ式多羽根ディスク(穴式) フェルトディスク【100 mmのみ】 サイザルディスク【100 mmのみ】 多羽根ディスク(穴式)	付属のトイシ取付け用ホイルワッシャ、ホイルナットを使用し、付属のレジノイドフレキシブルトイシと同じ方法で取付けます。 (P12「トイシの取付け・取りはずし」参照)
カップワイヤブラシ(ねじ式) ベベルワイヤブラシ(ねじ式) サーフェーサー(ねじ式)【100 mmのみ】	直接スピンドルにねじ込んでください。 付属のトイシ取付け用ホイルワッシャ、ホイルナットは使用しません。
ワイヤレスブラシ【100 mmのみ】	付属のトイシ取付け用のホイルワッシャを使用(小判形凹部をワイヤブラシ側にする)し、直接スピンドルにねじ込んでください。 付属のホイルナットは使用しません。
多羽根ディスク (ワンタッチ式)(ねじ式)【100 mmのみ】	付属のトイシ取付け用のホイルワッシャを使用(小判形凹部をスピンドル側にする)し、直接スピンドルにねじ込んでください。 付属のホイルナットは使用しません。

保守・点検

警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●取付ねじの点検

各部取付ねじでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら、締め直してください。ゆるんだままお使いになりますと、けがなど事故の原因になります

●お手入れする

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●モーター部の取扱について

モーター部の巻線は機体の重要な部分です。巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分に注意してください。

注 モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。50時間ぐらい使用しましたら、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をテールカバーの風穴から吹き込んでください。ごみやほこりの排出に効果があります。

●作業後の保管

機体や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

注

- ・ お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
- ・ 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
- ・ 温度が急変する場所には保管しない。
- ・ 直射日光の当たる場所には保管しない。
- ・ 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

● トイシの交換時期

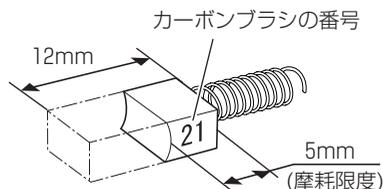
トイシの外径が G 10 SSは約 60 mm、G 13 SSは約 75 mmまで磨耗しましたら、新品と交換してください。

● カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの磨耗が大きくなりますと、モーターが故障する原因となりますので、長さが摩耗限度(5 mmぐらい)になりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしてください。

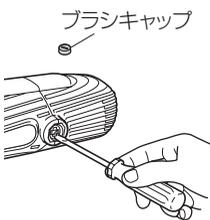
注 新品のカーボンブラシと交換の際は、必ず図示の番号(21)の日立カーボンブラシを使用してください。



● カーボンブラシの交換方法

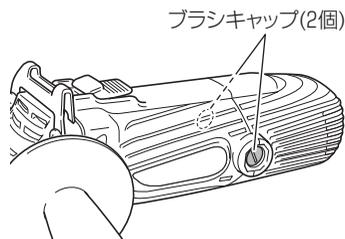
1 古いカーボンブラシを取り出す

マイナスドライバーなどでブラシキャップをはずして、古いカーボンブラシを取り出します。



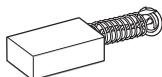
3 ブラシキャップを取付ける

ブラシキャップでカーボンブラシを押しさえ込みながら、マイナスドライバーなどで時計方向に回して締付けます。



2 新しいカーボンブラシを取付ける

ブラシホルダの角穴に合わせてカーボンブラシを指で押し込みます。



メ 毛

ご修理のときは

この製品は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自身で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは、下記の全国営業拠点にご相談ください。また、部品ご入用の場合や取扱いでお困りの点などについても、ご遠慮なくお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号(NO.)
販売店 (TEL)		

全国営業拠点

■ 日立工機電動工具センターへのご用命は、下記の営業拠点にお問い合わせください。

- 北海道支店 TEL (011) 896-1740 (代) 〒004-0053 札幌市厚別区厚別中央3条1丁目2番20号
- 東北支店 TEL (022) 288-8676 (代) 〒984-0002 仙台市若林区卸町東3丁目3番36号
- 関東支店 TEL (03) 5812-6331 (代) 〒110-0016 台東区台東4丁目11番4号(三井住友銀行御徒町ビル)
- 中部支店 TEL (052) 262-3811 (代) 〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目7番13号(コスモ栄ビル)
- 北陸支店 TEL (076) 263-4311 (代) 〒920-0058 金沢市示野中町1丁目163番
- 関西支店 TEL (0798) 37-2665 (代) 〒663-8243 西宮市津門大樋町10番20号
- 中国支店 TEL (082) 504-8282 (代) 〒730-0826 広島市中区南吉島2丁目3番7号
- 四国支店 TEL (087) 863-6761 (代) 〒760-0078 高松市今里町1丁目28番14号
- 九州支店 TEL (092) 621-5772 (代) 〒813-0062 福岡市東区松島4丁目8番5号

「電動工具お客様相談センター」 ☎ 0120-208822 (フリーダイヤル・無料)
※携帯電話からはご利用になれません。 (土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)
電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>



〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)
国内営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)